

は、水沢コミュニティバスが南方線、佐倉河線、見分森線、市営バスが田原根子町線、伊手口沢線、梁川大岳線、広瀬青谷線、田原原線、稲瀬大迫線となっている。

教育厚生部門

質問 小中学校の修繕費について、各学校からの要望額、教育委員会の予算要求額、予算額はいくらか。

答弁 要望額は3億4千490万円、予算要求額は5千499万円、予算額は4千033万円。改修費別枠で2千万円を補正予算で追加した。

質問 小中学校、幼稚園でのエアコンの新設置は。

答弁 小学校9校の保健室と幼稚園5園の預かり保育スペースに新たに設置した。

いる所があるが、修理等の対応は。

答弁 説明板の市全体の把握が不十分なので、実態を調査し計画的に対応していく。

質問 チャレンジデーについて今年の参加状況と今後の対応は。

答弁 66・5%であり、目標の70%に届かなかった。今後、団体だけでなく、個人の参加についても掘り起こしたい。

質問 不登校の人数と特

徴は。

答弁 小学校では17名で、高学年に多く、人との関わりに問題があるようである。中学校では67名で、一年生の夏休み後に急増する傾向にある。

質問 学校給食での奥州市産の農産物の使用程度は、どれくらいか。

答弁 地場産の使用割合は45・9%である。「奥州の日」を設け、利用促進している。

質問 給食費の滞納者は



鹿児島県霧島市に勝利（2014チャレンジデー）

何人か。

答弁 25年度分で307人、過年度分で127人である。

質問 重度心身障害者、乳幼児・妊産婦、ひとり親家庭の医療費支給経費について、事業の評価は。

答弁 受給者が増えていて、弱い立場の方に対して、医療機会の確保、セーフティネットとして、効果を果たしている。

産業経済部門

質問 公衆無線LAN（Wi-Fi）整備に関して、観光施設にも設置を推進すべきと考えるが。

答弁 外国人観光客の役に立つことなので、誘客促進のため指定管理者等と協議をしていきたい。

質問 三偉人記念館の入館者数が、合併時である平成18年度と比較して、半減している。対策を講じるべきでは。

答弁 教育旅行のPRを促進するなど、教育委員会と連携を図りたい。

質問 江刺蔵まち市開催事業に関して、賑わいの波及効果が弱いと思われるが。

答弁 蔵町モールを中心に、三つのイベントを年1回から3回開催している。屋台村に関しては波及効果があるが、単発に終わっているイベントもある。工夫をしていきたい。

質問 観光物産協会に対する補助金が、観光振興に十分に活かされるように取組んでいただきたいが。

答弁 補助金に対して、効果が出ているかどうかの実施評価をしていきたい。

質問 中心市街地活性化のために、様々な補助をしている。その効果をどう捉えているか。

答弁 まちなか交流館な



高野長英記念館、企画展を開催

ど、交流人口の拡大に寄与しているものもある。空いているスペースへの誘致など進めていきたい。

質問 祭り事業について、特に露天商に対して公平な支援をお願いしたいが。

答弁 実行委員会を通して行っているが、不公平感が出ないようにしていきたい。

質問 シルバー人材センターについて、大事な事業であるが、状況はどうか。

答弁 会員数は増加しているが、金銭的には減少している。清掃の仕事な